

JICA 来日研修員を対象とした 再エネ導入促進と需給最適化に関する研修の実施

2026 年 8 月 19 日
北陸電力送配電株式会社

当社は、本日より、一般社団法人海外電力調査会とともに、海外の研修員を対象に「再生可能エネルギー導入促進および需給最適化」に関する研修を開始しました。

当社は 2021 年度より独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する課題別研修^{※1}を受託し、海外研修員の受入れをしております。加えて、2025 年度からは新たな研修^{※2}を開始し、今回で 2 回目の実施となります。

本研修は、JICA が実施する課題別研修のうち、海外諸国における電力技術向上に向けた国際協力の一環として、当社と一般社団法人海外電力調査会が講師を務めるものです。

■研修期間

8 月 19 日（水）から 9 月 9 日（水）の 16 日間

■研修参加者

インドネシア、カンボジア、バングラデシュ、スリランカ、マーシャル、ミクロネシア、ソロモン、グレナダ、ホンジュラス
計 9 か国の省庁や電力事業者 10 名（スリランカから 2 名参加）

■研修目的・概要

- ・ 海外においても脱炭素社会の実現に向け、再エネの導入促進が求められる一方、太陽光発電や風力発電など出力が不安定な電源の導入により、電力系統において様々な課題が発生しています。
- ・ 本研修では、これらの課題解決に向け、日本における政策・規制、当社の再エネの大量導入に資する設備対策および電力系統安定化・需給最適化に関する対策等を講義・紹介するとともに、関連する当社設備の見学等を行います。

当社は、研修の実施を通じて、海外の電力関連技術者の電力技術向上に向けた国際的な支援・協力を進めてまいります。

■研修の様子



以 上

■参考

※１ 研修テーマ：多様な再生可能エネルギー導入時の系統安定化
(2021 年度から受託開始)

※２ 研修テーマ：再生可能エネルギー導入促進及び導入時の電力需給最適化
(2025 年度から受託開始)